

第3学年 社会科学学習指導案

平成21年10月28日(水) 第5校時

指導者 辻 英一郎

1 単元名 店ではたらく人びとのしごと

2 単元の目標

- 身近な地域の販売に携わる人々の仕事に関心を持ち、見学や調査を通して意欲的に追究しようとする。
(関心・意欲・態度)
- 販売に見られる仕事の特色や工夫、自分たちの生活や他地域との関連を考えることができる。
(思考・判断)
- 販売に携わる人々の工夫について、見学したり調査したりして調べ、分かりやすく表すことができる。
(観察・技能・表現)
- 消費者の求めていることと販売に携わる人々の工夫や努力に気付き、販売に携わる人々の仕事は自分たちの生活を支えていることを理解できる。
(知識・理解)

3 指導上の立場

(1) 単元について

本単元では、学習指導要領の内容(2)を扱い、販売に関する仕事としてスーパーマーケットを取り上げる。地域の販売に携わる人々の工夫や努力について、見学や調査を通して調べ、消費者の求めていることと結びつけてとらえていく。また、販売に携わる人々の仕事は、自分たちの生活を支えていること、地域の販売の仕事に見られる特色及び国内の他地域などとの関わりについても気付くようにする。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、男子13名女子6名計19名である。これまで、「わたしのまちはどんなまち？」では、自分たちの住んでいる身近な地域(旭小学校の学区)や美咲町について、町探検をしたり美咲町の副読本を利用したりして調べ、地形的な特徴や土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子などについて調べてきた。見学したり、地図にまとめたりする活動について進んで取り組む児童が多い。本単元では、見学や調査、カードやワークシートにまとめる活動などを通して、販売に携わる人々の工夫に気付けるように児童が好む活動を取り入れていくようにする。

(3) 指導観について

本単元を指導するにあたり、学習過程を「問題をつかむ過程」-「問題を解決する過程」-「働きかける過程」とする。「問題をつかむ過程」では、身近な地域の店に関心を持たせ、家族の買い物調べをし、それをもとに話し合い、地域の人々がよく利用するスーパーマーケットに気付くようにする。家族が、スーパーマーケットや商品に対して求めていることや、店や商品を選んでいく理由を調べ、買い物客の求めていることについて話し合うとともに「お店の人は、どんな工夫や努力をしているのだろう。」という学習課題を決める。「問題を解決する過程」では、スーパーマーケットを利用する人が多い理由を予想し、見学の計画を立て、インタビューする練習をする。スーパーマーケットの見学では、店の特色や店の人の工夫について気付くようにする。見学後、分かったことをまとめ、買い物客の求めていることと店の人の工夫とのつながりを考えるようにする。また、スーパーマーケットに届く品物の仕入れ先を調べ、地図に表し、国内の他地域などとの関わりについても気付くようにする。「働きかける過程」では、学習したことをまとめるために、家族や友達に紹介するという場を設定してポスターを作る。

(4) 研究テーマとの関わりについて

本校では、小中一貫教育のテーマ「小中学校の連携による生きる力を持った子どもの育成」をあげている。「学力向上」を重点課題とし、わかる授業づくりをめざして取り組んでいるところである。

本時では、児童につかませたい具体的な事実を明確にし、それを児童が分かりやすくとらえられるようにカードやワークシートを利用したり、授業の流れや板書について工夫したりする。また、児童が学習による自らの変容に気付き、満足感が得られるようにし、学ぶ意欲を育てていくようにする。

4 指導計画(全13時間)

第一次(3時間)

- 第1時 買い物に行ったことのある店について話し合う。
課外 家族が買い物をした店と買った品物について調べ、買い物カードにまとめる。
- 第2時 買い物カードをもとに話し合い、地域の人々の買い物の特色を見つける。
課外 買い物をする店や商品に対してどんなことを求めているか家族に聞き、カードに書く。
- 第3時 買い物客の求めていることについて話し合い、学習課題を決める。

第二次（8時間）

- 第1時 スーパーマーケットで買い物をする人が多い理由を予想し、見学の計画を立てる。
- 第2時 見学で気をつけることを確認し、インタビューの練習をする。
- 第3・4時 スーパーマーケットを見学し、店の特色や店の人の工夫や努力を調べる。
- 第5時 見学して分かったことをカードに表す。
- 第6時 店の人の工夫を買い物客の求めていることに合わせて考える。・・・(本時)
- 第7・8時 スーパーマーケットに届く品物の仕れ先を調べ、地図に表す。

第三次（2時間）

- 第1時 店長になったつもりで、自分の考えた店のおすすめポスターを作る。
- 第2時 店のおすすめポスターをもとに、店を紹介し合う。

5 本時案（第二次 第6時）

目 標	買い物客の求めていることと店の人の工夫のつながりについて考え、店の人が、買い物客の求めていることに合わせて、販売の工夫や努力をしていることを理解することができる。	
学習活動	教 師 の 支 援	評価規準・方法等
<p>1 買い物客の求めていることと店の人の工夫を確認する。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>買い物客の求めていることと店の人の工夫を示したカードを黒板に掲示することで、視覚的に学習を理解できるようにする。</p> <p>買い物客の求めていることに合わせて、店の人がしている工夫や努力について考えていくことを確認する</p>	
<p>お客さんのもとめていることに合うように、お店の人はどのような工夫や努力をしているのだろう。</p>		
<p>3 買い物客の求めていることと店の人の工夫のつながりを考え、ワークシートに書く。</p> <p>4 買い物客の求めていることと店の人の工夫のつながりについて発表する。</p>	<p>お店の人の工夫や努力に気付かせるために、買い物客の求めていることと店の人の工夫には、どんなつながりがあるのかを個々で考えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物客の求めていることと店の人の工夫や努力を関連づけて考えやすくするためにワークシートを利用する。 ・ワークシートに、買い物客の求めていることに対する店の人の工夫や努力を線で結ばせるとともに、理由も考え書かせるようにする。 <p>個々に書いたワークシートをもとに、理解を深めるために、買い物客の求めていることと店の人の工夫について考えた理由を発表させる 児童の発表に応じて、黒板に掲示しているカードを線で結んでいくようにする。</p>	<p>つながりを考え線で結び、その理由を書けているか。 (思考・判断)</p> <p>考えたことを進んで発表しているか。 (関心・意欲・態度)</p>
<p>5 スーパーマーケットの人の話を視聴する。</p>	<p>スーパーマーケットの食品館の店長さんに、買い物客の求めていることに合うように店でしている工夫や努力について話してもらったビデオ映像を視聴させることで、店の人の工夫や努力に気付くようにする。</p>	
<p>6 分かったことを文にまとめる。</p>	<p>買い物客の求めていることに合わせて店の人がどんな工夫や努力をしているか分かったことを家の人に伝える手紙を書く。</p>	<p>店の人の工夫や努力について分かったことを書いているか。</p>
<p>7 次時の学習を知る。</p>	<p>次時は、スーパーマーケットに届いた品物の仕入れ先について、地図に表していくことを知らせる。</p>	